特別活動指導法の授業における学生の特別活動経験の違いについて：授業でのアンケートを実施して

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2018-03-30
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 並木, 正, Namki, Tadashi
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://senzoku.repo.nii.ac.jp/records/747

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

教職課程年報　第１号　2017 年度

実践研究報告

特別活動指導法の授業における学生の特別活動経験の違いについて

― 授業でのアンケートを実施して ―

並　木　　正
Tadashi Namiki

1　はじめに

本学で特別活動指導法の授業を始めて３年目になるが、どうも特別活動の意義を理解できる活動が中学、高校時代に十分に行われていないのではないかと思われることが多々ある。学生の意見の中に、宿泊行事が一番印象にのこっていたり、席替えを毎月やっていたりなどの意見を聞くことが多い。また、大学進学に重点を置く高校では、学級活動の時間を自習にしているということも学生から聞く。このような学校では、学級の取り組みにあまり力を入れず、学習に力を入れており、学級としてのまとまりを求める担任の指導が十分でないことも考えられる。実際に平成 29 年度の後期の特別活動指導法の授業では、指導案の作成に大変時間がかかり、なかなか担任の指導の具体策を考え出すことが難しかった。学習に重点を置く学級で育った生徒が教員を目指したときに学級の動かし方について悩むのではないかという心配もある。そこで、各期の初めの授業に行っているアンケートを基に次のことを明確することを試みた。

○平成 29 年度の前期の学生と後期の学生を比べると、後期の方が特別活動に関わる体験が少ない。このことが明確になったら、次にどのような授業をすれば良いかを提言したい。

○特別活動に関わる体験が少ない学生には、どのような授業形態が有効か。

以上の２点について論じたい。

2　特別活動の内容

特別活動は学級活動、生徒会活動、学校行事と分かれており、アンケートで特に学生から印象に残ることの少なかった、学級活動と生徒会活動に焦点を当てた。

(1)　学級活動について

学級活動の目標は学習指導要領に以下のように示されている。

学級活動を通して，望ましい人間関係を形成し，集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

また、この目標について解説編は次のように解説されている。

学級は，生徒にとって各教科等の授業を受ける場であるとともに，学校生活を送る上での基礎的な生活の場である。この学級を基盤として行われる学級活動は，学級や学校での集団生活上の問題や個々の生徒が当面する諸課題などを，自主的に解決し処理していくような活動を行うとともに，それらの活動を通して，学級や学校生活への適応と，その充実・向上を図り，健全な生活態度を身に付け他者と共生しながら自己実現を図っていく活動である。

このような学級集団における望ましい集団活動を通して，望ましい人間関係を形成し，集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し，学級や学校生活にかかわる諸問題や，生徒の発達の課題に即した諸課題を解決しようとする自主的，実践的な態度を育成することが学級活動の目標である。

学級活動で育てたい「望ましい人間関係」とは，豊かで充実した学級生活づくりのために，生徒一人一人が自他の個性を尊重するとともに，集団の一員としてそれぞれが役割と責任を果たし，互いに尊重しよさを認め発揮し合えるような開かれた人間関係である。

学級活動で育てたい「自主的，実践的な態度」とは，そうした望ましい人間関係を主体的に形成し，学級や学校づくりに参画するとともに，生活の中で起こる様々な問題や課題について積極的に取り組み，解決していこうとする自主的，実践的な態度である。また，日常の生活やそこでの生き方，学習や進路に関する諸問題について，自己をよりよく生かすとともに，共に考え話し合い，協力して諸問題を解決したり，人間としての生き方についての自覚を深め，主体的に物事を選択し，現在及び将来を豊かに責任をもって生きていく自主的，実践的な態度である。

さらに，育てたい「健全な生活態度」とは，日常生活や社会生活を営むために必要な行動の仕方を身に付け，集団や社会の一員としての在り方を体得し，学校や学級での生活によりよく適応するとともに，現在及び将来の生き方を考え行動していく態度や能力である。

また、学習指導要領では学級活動の内容について以下のように示している。

学級を単位として，学級や学校の生活の充実と向上，生徒が当面する諸課題への対応に資する活動を行うこと。

(1) 学級や学校の生活づくり

二　ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理

ウ 学校における多様な集団の生活の向上

(2) 適応と成長及び健康安全

ア 思春期の不安や悩みとその解決

イ 自己及び他者の個性の理解と尊重

ウ 社会の一員としての自覚と責任

エ 男女相互の理解と協力
オ 望ましい人間関係の確立
カ ボランティア活動の意義の理解と参加
キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
ク 性的な発達への適応
ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
(3) 学業と進路
ア 学ぶことと働くことの意義の理解
イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
エ 望ましい勤労観・職業観の形成
オ 主体的な進路の選択と将来設計

解説書を初めから読むと担任教諭の指導の下に望ましい集団を目指すことが求められ、その目標に向かった集団活動ということになる。この学級活動でも学級指導の中心は担任である。学級活動の目標の文末にある「育てる」の主語は担任教諭と考えられる。

(2) 生徒会活動について

生徒会活動の目標は学習指導要領に以下のように示されている。

生徒会活動を通して，望ましい人間関係を形成し，集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し，協力して諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度を育てる。

また、この目標について解説編は次のように解説されている。

生徒会活動は，全校の生徒を会員として組織し，学校における自分たちの生活の充実・発展や学校生活の改善・向上を目指すために，生徒の立場から自発的，自治的に行われる活動である。このような生徒会の集団における望ましい集団活動を通して，望ましい人間関係を形成し，集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し，協力して諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度を育成することが生徒会活動の目標である。

生徒会活動においては，このような目標を実現する過程で，生徒の自主性・主体性を育てるとともに，学校集団としての活力を高め，健全で豊かな学校生活が展開できるような集団を育成することが期待される。

生徒会活動で育てたい「望ましい人間関係」とは，豊かで充実した学校生活づくりのために，一人一人の生徒が生徒会組織の一員としての自覚と責任感をもち，共に協力し，信頼し支え合おうとする人間関係である。また，ボランティア活動など教育的価値をもつ社会的活動への参加や協力，他校との交流や地域の人々との幅広い交流など，学校外における活動を通して，他者を尊重し，共によりよい集団生活や社会生活を築こうとする開かれた人間関係である。

生徒会活動で育てたい「自主的，実践的な態度」とは，生徒自ら目標をもち，学校や社会の一員としてよりよい学校生活へ貢献するための役割や責任を果たし，学校生活全体の充実・向上にかかわる問題について，みんなで話し合って協力して解決したり，集団や社会の一員としての自覚に基づき，学校や地域社会の生活の充実・向上に積極的に関わったりしていく自主的，実践的な態度である。

中学校の生徒会活動においては，小学校での児童会活動で身に付けた態度や能力を 基礎にし，生徒の自発的，自治的に活動する態度や能力を高めていくようにすることが必要であり，自主的，実践的に活動できる場や機会の計画的な確保も含めた学校の一貫した指導体制の下に運営される必要がある。

その際，生徒の自主性，自発性をできるだけ尊重し，生徒が自ら活動の計画を立て，生徒がそれぞれの役割を分担し，協力し合って望ましい集団活動を進めるよう，教師が適切に指導・援助することが大切である。

生徒会活動の内容については以下のように示されている。

学校の全生徒をもって組織する生徒会において，学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。

(1) 生徒会の計画や運営

(2) 異年齢集団による交流

(3) 生徒の諸活動についての連絡調整

(4) 学校行事への協力

(5) ボランティア活動などの社会参加

ここでも生徒会活動の目標の解説の終わりにあるように「教師が適切に指導・援助することが大切である。」と結ばれており、教師の指導の重要さを示している。

このような望ましい集団を目指す指導に関わる体験が中学校や高校での学校生活の中でされていたかを調査するためにアンケート調査を行った。

2　アンケートの内容

実際に使用したアンケートを以下の枠の中に示す。

四

特別活動指導法に関する意識調査

＿＿＿学年＿＿＿＿＿＿学科　学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

中学校や高等学校時代に、生徒の立場で体験したことを振り返り、または、これから近い将来教員になった時のことを想定して、下に示した特別活動にかかわる各項目について、今のあなたの考えを具体的に記述してください。

1　特別活動の時間では、生徒にどのような力を身に付けようとして指導すると考えますか。

2　自分が中学生や高校生の時、学級活動では、担任の先生からどのような指導がありましたか。

3　今、考えると学級活動で、担任からどのような方法で指導があれば良かったと考えますか。

4　生徒会活動では、どのような指導がありましたか。

5　今、考えると生徒会活動で、どのような方法で指導があれば、良かったと考えますか。

6　学校行事では、どのような指導がありましたか。

五

7　今、考えると学校行事で、どのような方法で指導があれば、良かったと考えますか。

8　特別活動では、今日的にどのような課題があると考えますか。

3　アンケートの結果とその分類

(1) 印象に残っている内容になるが、上記アンケートの「2　自分が中学生や高校生の時、学級活動では、担任の先生からどのような指導がありましたか。」の解答について平成29年度の学生のものを以下に並べてみる。Aは平成29年度前期、Bは平成29年度後期である。記載内容はすべて、学生の書いた原文のままである。

A1　書類提出の際、適当やって直すくらいなら今、自分ができるベストを書けば、やり直さなくてすむと教わり、生活のあらゆる所で手を抜かなくなった。

A2　クラスの話し合い等で、自分の意見を発表、主張することの重要さについて指導を受けたことがあります。クラスの大半が話し合いに参加しなかった際に、担任から自分の意見をもって話し合いをし、クラスを動かしていくことの大切さについてお話をされました。

A3　進路に迷っている時、先生にも仕事があるにも関わらず、ずっと話を聞いてくれたりしてくれた。急な事務仕事があってもすぐ戻ってきて、生徒の立場になって一緒に考えてくれる。

A4　中学校３年の時の担任は今の自分の夢の姿です。あの先生のような指導がしたいです。学級文庫をかえる。掲示物はプリントにして、あいたスペースに大きな桜をつくり、桜の花に自己紹介を書かせる。学級通信を連載方式で行う。授業以外もすばらしい指導が大事。

A5　言葉を大切にしなさい。ということと、夢を叶えるのに年齢は関係ないから、追い続けなさい。あと、卒業式の後の最後の学活で、いつまでの高校での思い出を引きづらないように担任の存在を記憶から消しなさい。と言われたこと。

A6　合唱祭の本番前、私が伴奏ですごく緊張していたとき、担任の先生が頑張っていたのをずっと見ていたから大丈夫と言ってくださって、本番成功してほめてくださった。

A7　クラスで起こった、小さいけどひっかかる問題をちゃんと考える機会を作ってくれることで、その大切さを知った。すごくこわい先生だったけど、クラスがこわれる圧力ではなくて、どんどん仲良くなっていくのがわかって、すごい先生だと思いました。

A8　遅刻や授業中の私語と遊びで指導されました。服装や持ち物で指導がありました。

A9　困っていたら、どの先生も親身に聞いてくれた。

A10　大人をなめるんじゃないと。自分たちより100倍以上経験しているだと。大人は怖いんだと言ってました。

A11　特に問題を起こしたりはしなかったのであまり記憶にはありませんが、1つ記憶に残っているのは高校1年のときに、自分の高校は音楽科のある学校で、そこに通っていたため、これから1人の音楽家としての行動の仕方などを指導してくれた。

A12　そうじなど徹底的にやり、話し合いではグループで話し合って、発表したりした。

A13　自分の気持ちだけを強く持ちすぎて、人の意見を聞けていない。

A14　文化祭などの時に上位のクラスでいるために校庭や、体育館をとってくれてみんなで練習したこと。

A15　行事の時とかは、いつも練習をしっかり見ていてくれて、諦めずに、生徒1人1人の意見を尊重してくれた。問題が起きた時は、解決に向かって話し合いをしてくれた。

A16　高校1年の時、クラスの委員長をやっていましたが、周りの人をもっと頼らないと、と言われたことは印象に残っています。

A17　間違った事をしたら真剣に怒ってくれる。先生が本気だとこっちも本気になれる。
どんな行事も本気取り組んでくれる。先生が一番ガチ。

A18　自分の得意な分野では他の生徒を助ける。サポートするよう言われた。(学級内のイメージ旗の作成で絵が得意でリーダーを任された。修学旅行の電車の移動の乗り換えを考える。)

A19　進路のことで空き時間や放課後などに面接の練習をしてもらった。

A20　学活やHRの記憶があまりないけど、中・高共に生徒主体でやらせてくれた。でも、息詰まった時にはいつも声をかけてアドバイスしてくれた。中1と中3の担任の先生が本当に熱くて、学校行事は全員が燃えて、すごく楽しめた。

A21　個人的にというよりは全体への注意のような形で人との社会的距離を保つことを大切にしなさいという指導をされた。時間を厳守することは信用を築くことだと指導を　受けた。

A22　職員室につれていかれて正座させられる。(生徒指導の先生) 担任はネチネチおこる先生でしたが、生徒思いの先生でした。

A23　なし

A24　一発ギャグをやらされる。例えば遅刻、忘れ物などをした時。罰として掃除をやらされた。

A25　私の先生はあえて生徒に話し合いをさせ、何も言わずに見守っている先生でした。口論になった事もありましたが、陰でサポートをしてくれ絆が深いクラスに成長していきました。

A26　出欠の連絡をしっかりすることや遅刻をしないようにと指導された。高校の時、席替えや委員・係決めの時にあまり口出しせずほぼ生徒にまかせてくれた。助け船などは出してくれた。

A27　風紀検査や進路調査。学級活動の時間を使って受験の面接対策などもあった。

B1　席替えや係決め

B2　割りと、不登校生徒がどうすれば学校にくるようになるか考えることが多かった。

B3　席替えで先生が全部勝手に決められたことがあって嫌いでした。

B4　誰も傷つかないように、ひとりひとりが納得できる席替えをしようという完全自由なものはありませんでした。

B5　レクなどで個人ではなく団体なので団体でやることの大切さの指導があった。

B6　あまり覚えていませんが、自分の学校は人間性や女性のあり方などについて考えることが多かったです。グループワークや先生方のお話をお聞きするHRがありました。

B7　中学校では行事などの決め事に使っていたことが多かった。高校では勉強に使われていた。

B8　高校生のときに、クラスの全員が何かしらの委員会や係になるようにする。

B9　委員会決め、係決めをする時は、人任せにしない。レクリエーションの時はみんなでたのしむ。

B10　委員決め、係決め、席替えなどをして、自主的に生徒がやっていくすすめ方だった。

B11　朝のSHRという形で漢字のテストor数学のテストがあった。合唱コンクール期間にはみんなで朝集まるかどうか前日の帰りHRできめて行っていた。

B12　席替え、先生の長いお話。

B13　ゴミの分別とか激しい方だったので、まちがえないようにとか、係の仕事（給食後片付け忘れ）をやらないとこがあったので、その注意。

B14　服装や髪色チェック等があった。

B15　文化祭のクラス準備に忙しくてあまり参加できなかった時、自分のできる範囲で参加すればいいと言って下さった事が前向きになれた。

B16　良く覚えているのは、試験前になると自習時間を取ってくれて当時はありがたかったです。中学では体育祭の前に学年種目の練習をしたり、定期的に学年での球技大会がありました。

B17　係を決める時、人数が多かったりしたら、自分たちで話し合いで決める。

B18　生徒で誰か仕切る人をきめて、その人を中心に話し合ってた。生徒で自主的に進めていく。

B19　自分達で話し合って、係や委員を決める。

B20　帰りのHRで「明日、レクやるけど何がしたい？」と声かけがあり、クラスみんなで決めてレクをしていた。（レク係が主催となって）席替えは、テストが終わりしだい、くじ引きだった。

B21　主に生徒に主体的に話し合いをさせ、意見が途切れたときに助け船をだしてくれていた。

B22　合唱指導。

八　これらの学生の書いた担任からの指導を以下のように分類してみる。

表　1

2　自分が中学生や高校生のとき学級活動で担任の先生からどのような指導がありましたか。	A グループ　29 年度前期	B グループ　29 年度後期
望ましい集団活動を目ざす指導	A2　A4　A6　A7　A12　A14　A15　A17　A18　A20　A21　A25　A26	B5　B11　B15　B21
席替え係決めなど学級の生活づくり		B1　B3　B4　B7　B8　B10　B12　B17　B18　B19
適応指導	A2　A9　A13　A16	B2　B6　B16　B20
学習指導		B7　B11　B16　B22
進路指導	A3　A5　A11　A19　A27	
規律の指導	A1　A8　A10　A22　A24　A27	B13　B14
なし	A23	

(2) 同様にアンケートの「4　生徒会活動ではどのような指導がありましたか。」について平成 29 年度の前期の学生と後期の学生の回答をならべてみる。

A1　授業ばかりしていたので、覚えてないです。

A2　生徒会で予算案をだして、各委員会ごとに活動計画を発表するといった活動しかした記憶がないです。

A3　生活委員会では朝のあいさつ運動や学校シンボルの旗と国旗を上にあげたりをしていた。文化祭などの行事で見回りをしたりした。

A4　ある程度の自立、自律する気持ちを養うための指導がある。会長とかは人の上に立つのでより一層見本になるような人になるべき指導があったと思います。

A5　学校内を清潔にたもつためにそうじ週間があった。要望 BOX があっていろいろな意見を書ける箱があった。生徒会の人が朝、校門の前に立ってあいさつする週があった。

A6　学校がよりよくなるようあいさつ運動をしたり、月に一度生徒会新聞を配付していた。

A7　委員会などの役員を決めたり、学校での新しいルールをきめるか集会を開いたりしました。

A8　服装チェックや持ち物検査、あいさつの週番など。

A9　生徒総会を年に 1 度行い、中学校では各委員会から予算や PR をしました。

A10　特にありません。

A11　生徒会活動と関係があったかは忘れたが、毎朝学校のそうじをすると校訓カードというのをもらえて、それが少し成績にプラスされるため、みんな気がむいたら、やっていた。

A12　あいさつを校内で活発にするために、朝20分間くらい時間をきめて、げんかん前に並んであいさつ運動をしていた。

A13　給食を残さないで食べる。あいさつをする。無言で清掃する。

A14　生徒会の選挙でしっかり誰を選ぶか見定めることがよく言われましたが、他のことがあまり覚えていません。

A15　赤い羽募金、ペットボトルのキャップ集め、役員選挙、生徒総会

A16　あいさつ運動や資源物回収はやっていました。

A17　学校生活を見直したり、予算などを決める。

A18　生徒会活動があまり盛んな中学校や高校ではなかったので特にないです。

A19　校内のケータイ禁止、ゴミ拾い、あいさつ運動

A20　部活動が厳しかったので、生徒会に入っていけなかったのですが、役員選挙や総会に参加している中で、本物の選挙のこととかを少し教えてくれた。あと、週番はかなり厳しかった。(遅刻とか)

A21　生徒総会、役員選挙、委員会活動

A22　○文化祭の実行委員会　○ペットボトルのキャップ集め。

A23　生徒会総会で、支出と収益、クラブ活動費を報告したり、生徒会長選挙したりしていた。

A24　覚えていない。

A25　選挙、校門での挨拶運動、校内の清掃運動、募金運動、文化祭などの時の受付担当など校内の色々な活動をしてくれていました。

A26　生徒会長を決める時は本人とその人をよく知る人やお願いした人がこういうことをしたいやその人の紹介などの作文を体育館のステージ上で演説みたいなのをしていた。

A27　意見箱の設置、行事だよりの発行、学校行事の代表

B1　朝の挨拶運動

B2　立候補しようとしたら、副部長とかけもちをすると部活がなりたたないからと止められた。

B3　各委員会の委員長からの要望に答える。募金活動、あいさつ運動、生徒総会というものがありました。

B4　生徒会と学級委員が連携してあいさつ運動を行うという指導はありました。

B5　生徒会活動の自治活動で近所の防災訓練の手伝いや自分の住んでいる町について知ることの大切さの指導がありました。

B6　朝のあいさつ運動や募金など担任からやっていることを伝えられ協力するように言われました。

B7　作業の説明

B8　学校のルールなどを見直す上で、生徒の意見をより反映させるために工夫したり、学校行事や普段の学校生活の中で教師ではなく生徒会がまず生徒をまとめるようにする。

B9　生徒会の時はしっかり話を聞く。

B10　生徒会選挙の集会の話をしっかりきくようになど、募金活動に積極的に参加するようになど指導があった。

B11　ペットボトルキャップ集め。朝の登校時に正門であいさつ活動。花壇があったので、週ごとに部活でローテーションして花に水をあげていた。

B12　あいさつ運動、文化祭。

B13　３年になった時、学校で引っぱる立場になったから、その事を考えて選挙にだれが立候補するか考えさせられた。

B14　ＳＨＲに生徒会立候補者がくるからちゃんと話を聞くみたいなのはあった。

B15　自主的に活動するように。

B16　生徒会の役員選挙では立候補者が少なく信任投票ばかりだったので、立候補しないのなら絶対信任は○にしなさいとよく言われました。

B17　選挙はルールを守って行う。

B18　記入なし

B19　記入なし

B20　生徒会はやっていないですが、学級委員をやっていたこともあり、手伝っていました。1年間の予算決めなど。「よりよくするために」を目標としてやっていました。先生は周りからみて、たまに手伝っていただいてました。

B21　文化祭では、生徒の企画を実現できるよう、実務的な面をサポートしてくれていた。

B22　選挙で友達に票を入れるなと指導された。

(1) の「2　自分が中学生や高校生の時、学級活動では、担任の先生からどのような指導がありましたか。」の分類と同様に以下のよう分類してみる。

表　2

4　生徒会活動ではどのような指導がありましたか。	Ａグループ　29年度前期	Ｂグループ　29年度後期
望ましい生徒会活動を目ざす指導について記入	A4　A7　A11　A14　A17　A20	B2　B4　B5　B6　B8　B10　B13　B15　B21
規律の指導	B9　B10　B14　B16　B17　B22	
活動のみ記入	A1　A2　A3　A5　A6　A8　A9　A12　A13　A15　A16　A19　A21　A22　A23　A25　A26　A27	B1　B3　B11　B12　B20
記入なし	A10　A18　A24	B7　B18　B19

4　考察

(1)　特別活動体験の比較について

まず、学級指導についてのアンケート調査「2　自分が中学生や高校生の時、学級活動では、担任の先生からどのような指導がありましたか。」についての回答の分類である（表１参照）。このように分類してみるとＢグループの方が特別活動の意味を「学級作りなどの望ましい集団を目指して担任が継続的に指導に当たる。」という印象を持っている学生が少ないことが分かる。例えば、A2は「クラスの話し合い等で、自分の意見を発表、主張することの重要さについて指導を受けたことがあります。クラスの大半が話し合いに参加しなかった際に、担任から自分の意見をもって話し合いをし、クラスを動かしていくことの大切さについてお話をされました。」となっており、学級集団としてのまとまりを求めた担任の指導をしっかり覚えている。この担任に話しは学級集団への適応の指導と見ることもできる。Ｂグループの件数も４件とＡグループの13件に比べると数の上でも少なく、内容も担任が集団をまとめたり、望ましい集団に向けて、各生徒と対応したりしていたことを窺わせる内容がほとんどない。このことからＢグループの学生の方が中学校、高校時代に担任からの学級に関わる特別活動に関わる指導を受けた体験が少ないと考えられる。

次に生徒会活動についてのアンケート調査「4　生徒会活動ではどのような指導がありましたか。」についての回答の分類である（表２参照）。このアンケートの記入状況を見ると、Ａグループは望ましい生徒会活動を目指す担任からの指導に触れているのは６件で､Ｂグループでは９件と多かった。Ｂグループは生徒会に関わって、「しっかりと話を聞く。」「ルールを守る。」「友達という理由で投票しない。」など規律に関する回答が６件あったが、Ａグループにはない。また、Ｂグループは生徒会の活動に関する記述も少ない。Ａグループは18件の記入があるのに対し、Ｂグループはわずか５件である。これらのことから生徒会に関わる担任からの指導を受けた経験がＢグループの方が少ないと言える。

以上のことから、Ｂグループは解説書にある「協力し合って望ましい集団活動を進めるよう，教師が適切に指導・援助することが大切である。」ということが生徒に理解されるような特別活動の体験がすくなかったことがうかがえる。

(2)　特別活動の体験が不十分な学生への指導の工夫について

特別活動に関わる体験が不十分な学生の特徴としては、規律の指導は意識されているが、望ましい集団作りの体験が少ないということが言える。私は普段から、自分の担当クラスを一班が４名程度になるように班分けをして、課題について班で検討し、各班の意見とまとめて発表することを行っているが、この時に発表者以外の班員の役割について考えさせ、他の３人の役割はどうだったのかを振り返らせ、望ましい関係作り、従属的ではなく、よりよい成果を目指して相互関係を深める小集団作りを試みたい。さらに、現在は行っていないが、特別活動でも、模擬授業を行う必要があると考えている。模擬授業では、学生が音楽を中心に専攻していることを考えて、合唱コンクールの指揮者決めや、自由曲決めをテーマとしたい。どのようにすれば、生徒の気持ちを一つにまとめることができるか、生徒への言葉の投げかけや働きかけをどうするかを考えさせるようにしたい。もちろん模擬授業であるから、教師役の学生からの言葉や、指示等の働きかけで、生徒役の学生はどう感じたのか、その場でフィードバックをかけ、

よりよい働きかけができるようにしたい。このような模擬授業を行う中で、学生に教師として必要な生徒に受け入れられる態度や信頼関係の作りかた、さらに、信頼関係を基盤とした統率力が身につくようにしたい。

参考文献

『学習指導要領解説　特別活動編』平成20年9月　文部科学省